

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	4120	(H.24)No.	4120
-----------	------	-----------	------

事務事業名	共同利用施設整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
産業部	農林資源室	関森 弘康	

会計区分	事業コード	303301
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	農林水産業費	共同利用施設整備事業
項	農業費	(小事業名)
目	農業振興費	共同利用施設整備事業

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	1	農村環境整備
	小施策	2	食と「農」のネットワークづくり
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
「オートパッカースケール」と「ロボットパレタイザー」を導入設置し、カンントリーエレベーターの業務の効率化を図ることにより伊賀米の更なる品質向上を図ることにより、伊賀米の生産出荷が持続的に確保される。
事業内容
平成24年度カンントリーエレベータ(上小波田)に導入した「色彩選別機」の機能を補完するために、「オートパッカースケール」と「ロボットパレタイザー」を今年の収穫期(9月)までに伊賀南部農業協同組合(JA伊賀南部)が、「強い農業づくり交付金」で、導入設置する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	・共同利用施設整備事業 (JA伊賀南部カンントリーエレベータ:色彩選別機導入) 全体事業費43,449千円 (補助金19,950千円・JA負担額23,499千円)	・共同利用施設整備事業 (JA伊賀南部カンントリーエレベータ:オートパッカースケール・ロボットパレタイザー導入) 全体事業費37,065千円 (補助金15,000千円・JA負担額15,000千円)

H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	19,950千円	15,000千円			
内訳(千円)					
国・県支出金	19,950	15,000			
地方債					
その他()					
一般財源	(0)	0	0	0	0
人工数					
職員	0.04人	0.03人			
臨時職員等	0.00人	0.01人			
概算人件費	(0千円) 308千円	248千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 20,258千円	15,248千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
色彩選別機の導入により、平成23年度に引き続き伊賀米コシヒカリが全国食味官能試験において、最高ランク「特A」を獲得した。これにより消費者、卸業者の評価や販売価格が上昇した。	本事業により導入した機材を活用し、JA伊賀南部での1等米比率の向上と高品質な伊賀米の有利販売につなげていき、農家組合員への還元を行なう。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	近年の異常気象による高温障害により、農産物への影響が出ており、米における1等米比率の低下傾向を防ぐ対策を進め、地元産伊賀米の品質向上を図ることで、地域の特産品づくりに貢献した。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

〔選択肢〕 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
施設の整備が完了したことから、事業完了とする。	第2次名張市農業マスタープラン